

私達が昔住んでいた町や村は瓦屋根や白壁の家が立ち並んでいました。川越は今でも蔵造の街並みが広がっています。今回は「喜多院」へ初詣をして、「いも膳」でさつま芋料理を堪能しました。

芋の種類は「紅赤」で甘さが際立っていました。そば？が出ましたが、乾燥芋を粉にしたものと小麦粉を混ぜあわせた物でしたが、色合いは蕎麦で喉ごしが良い食べやすいものでした。

ここから「菓子屋横丁」、「時の鐘」を經由して、「旧山崎家別邸」の見学、日本建築に洋館が併設されていて、日本間、洋間ともに見事なものでした。歩いて10分位のところに「松本醤油」があり、この工場見学を実施、工場の方から醤油の製造工程のこと建物の由来など丁寧な説明がありました。

この後併設されている店で醤油及びこの副産別の試食をしました。ここで解散しましたが、古いものと新しい感覚のものが融合している川越を勉強して「脳活」に大いに役立ちました。 役員一同



喜多院





いも膳





旧山崎家別邸



松本醤油
工場見学

